

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		港区立児童発達支援センター					公表日	令和8年3月19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	・お子様の状態に合わせて環境調整するための教材を整えている。 ・ふみおくんやゴムバンドは貸し出しができるように数を多めに用意しているため、活用できている。 ・お子さんに合わせてカスタマイズできている。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・各職種が在籍しており、訪問できなくても相談できる環境である。 ・利用者がさらに増える場合は負担が大きくなると思われる。	・訪問できる職員を増やすべく、職員の育成にも努めてまいります。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・毎回の会議の際に情報共有する時間が設けられている。 ・月1回の会議で各ケースの状況を確認し、見直す機会になっている。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・結果がしっかりと共有されている。 ・保護者からの意見は担当者で共有している。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・担当以外でも関連職種で情報共有が盛んである。 ・月1回のケース会で共有ができています。時間がある時はそれぞれのケースについて意見、提案等を出し合えるとより多面的な支援に繋がっていると感じる。 ・月1回の会議で職員の意見を聞く機会を設けている。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・評価結果を共有し、改善点に関しては話し合う機会を作っている。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・各職員に研修を受ける機会が明確にされており、研修に参加しやすい環境が作られている。			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・個別支援に繋がっている児が多いため、各職種の評価結果を踏まえ、全体像を把握した上で、環境との相互作用を精査できる。 ・アセスメントに関しては会議で共有し、お子さんに合わせた支援を検討する機会を作っている。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・お子様の特性と発達段階を理解したうえで、出来る工夫を検討している。 ・会議で共有し、支援内容については各職種からの意見が反映することができる環境がある。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	・アセスメント時に生活上困る場面等を共有しており、間接的な目標であっても、支援の際に共有しながら進めることが多い。 ・アセスメント時に意向や目標にしたいことの聞き取りをし、個別支援計画書に入れたことで、支援を開始した際にスムーズに共有することができた。 ・アセスメント時に訪問先職員との情報共有に重きをおいている。お子さん、保護者だけではなく、支援者も含めたアセスメントから支援内容を検討している。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・個別支援の担当者とも共有し、保育所等訪問支援の担当者間ではモニタリングなどの際に共有している。 ・会議で共有し、見直す機会を作っている。			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・アセスメントに関しては基本のフォーマットがあり、それに則して行っている。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・ガイドラインが職員がいつでも閲覧できるようファイリングされている。 ・ガイドラインを基本にしてお子さんに合わせた支援を実施している。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・会議で進捗状況を報告する機会を作っている。			

保	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の際に、園の先生とも流れを確認し、ポイントを共有した上でやっている。 ・1人で担当しているケースが、同園へ訪問する際には先生方と共有したいことや観察するポイントを共有している。 ・複数の職員で訪問する場合は、事前に打ち合わせを行い、支援のポイントを確認している。 ・一人で訪問することも多いため必ず事前打ち合わせをするわけではないが、会議で定期的に支援状況を共有している。 	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の職員で訪問した場合は当日振り返りを行う。単独の場合は必要に応じて当日上司に報告し、共有をしている。 ・⑤参照。 	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の理念を尊重し、支援者側の意見を押し付けないようにしている。 	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録は保護者にお渡しする記録とは別に管理されている。 ・記録は決められた場所に残り、サービス提供記録を作成し、保護者に伝えている。 	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の4回目くらいにはおおよその方向性を職員間で検討している。関係機関にもヒアリングしている。 ・訪問後に必ず保護者に報告する機会を作っている。訪問先とは訪問時に支援内容について報告し、次の支援に活かすようにしている。 	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて協力している。 ・機会がなかったが必要に応じて関係機関と連携を図っている。 	・今後も引き続き、サービス担当者会議や関係機関との会議を通して連携を図っていきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対応している。 	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に個別支援計画書の共有を勧めている。 ・必要に応じて、情報共有をしている。 	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で研修の際に、事例検討(相談)として、ケースを上げることがある。 ・それぞれの職種が定期的にスーパーバイズを受ける機会を得て、スキルアップしている。 	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はそのような機会はなかった。 ・機会があれば参加したい。 	・必要に応じて、担当者が参加します。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援のために保護者と共有をしている。 ・個別支援来所時やお電話でお話し、共有した。日程を合わせられなかった際に書面メインのやり取りになってしまったケースがあるため、できるだけ直接お話しができるよう調整が必要。 	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、就学やお子様との関わり方など様々なテーマの勉強会をご案内している。 ・事業所として開催している勉強会をお伝えしている。 	
保護	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しい職員が契約の際に説明している。 ・契約時に説明をしている。 	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係が浅い機関とは、初回の際に説明しており、その後も折に触れてお伝えすることがある。 ・事業の説明は、訪問支援開始前に訪問先施設に必ず説明している。 	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の説明の際やアセスメントの際に利用意向の聞き取りをしている。 ・こどもの最善の利益の優先はより意識して個別支援計画書に盛り込んでいきたい。 ・こども中心に支援をすることが共通認識として職員で共有されている。 	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書は案を作り、保護者の了解を必ず得てから本計画を作成している。 	

者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・その家庭に合わせて、適宜面談の機会を設けている。都度、電話での相談も受けている。 ・6ヶ月での見直しの際に面談をし、支援内容を確認するが、相談は必要に応じて適宜実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	・保育所等としては行っていない。	・きょうだい児支援については、今後検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談があった際には職員間での窓口が明確なため、スムーズに対応しやすいと思われる。 ・相談は適宜応じている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・法人としてホームページを作成しており、ホームページを通して、勉強会や地域の情報を伝えている。	・令和6年度よりホームページを開設し、保護者様向けの情報を発信しております。今後も周知に努めてまいります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・外勤簿にて個人情報の取扱いについて確認している。 ・個人情報の取扱いに関しては毎年研修をしている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・口頭だけでなく、書面でやりとりをするなどしている。 ・わかりやすい表現で伝える工夫を各職員が行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・毎回の支援の際に振り返りの時間で相談等を受けている。また、適宜、電話でのやり取りも行なっている。 ・訪問時だけでなく、電話でも相談に応じている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	2	・毎回の訪問時に先生方と振り返りを行い、支援内容を共有している。	・今後も引き続き、訪問時に訪問先職員とお子様のご様子について共有し、支援に活かします。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・来所時か電話での説明とサービス提供記録で実施している。 ・個別支援時や電話で訪問内容を報告している。	・毎月の訪問時や必要に応じて別日で時間を設け、お子様のご様子の共有や支援内容の確認を行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報に関する研修を毎年行っている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	・支援内容をわかりやすく伝えるよう努力している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・緊急時は訪問先のアナウンスに従う。また災害等のマニュアルを策定中である。	・訪問時に緊急事項が起こった先には訪問先のマニュアルに従います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・安全管理に関しては毎年研修を行っている。	・安全管理に関しては今後も引き続き、事業所内で研修や訓練を行い、訪問先では訪問先のマニュアルに従います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハットは発生直後に上司に報告し、全体で共有する流れになっている。対策についてもその場で検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待に関する研修を毎年行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・計画書作成時や、モニタリング時に確認している。 ・各お子さんに合わせた対応している。支援内容の中に対応策を明記している。	